



安全データシート

作成日 2004年5月11日

JIS Z 7253/GHS 分類マニュアル(改訂6版)に準拠

改訂日 2020年12月17日④

1 化学品及び会社情報

- 1.1 製品名: 石原グラスジン M ナトリウム粒剤 (ペンタゾン・MCPA エチル粒剤)
- 1.2 用途: 除草剤
- 1.3 会社情報: 会社名 石原産業株式会社
 住所 大阪市西区江戸堀一丁目3番15号
 担当部門 三重県四日市市石原町1番地
 石原産業株式会社 環境安全衛生統括グループ
 電話:059-345-6205 FAX:059-345-6206
- 1.4 緊急連絡先: 会社名 石原産業株式会社 バイオサイエンス事業本部 生産技術部
 電話:059-345-6118 FAX:059-345-6180
- 1.5 作成日: 2004年5月11日
 改訂日: 2020年12月17日④

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ先 : 石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)

2 危険有害性の要約

2.1 化学品の GHS 分類

JIS Z 7253 / GHS 分類マニュアルによる分類(改訂6版)

物理化学的危険性:

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高圧ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性物質	分類できない
鈍性化爆発物	区分に該当しない

健康に対する有害性:

急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:ガス)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん及びミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2A
呼吸器感受性	分類できない
皮膚感受性	区分 1
生殖細胞変異原性	区分 2
発がん性	区分 1A
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1(呼吸器、腎臓、免疫系、肺)
誤えん有害性	分類できない

環境に対する有害性:

水生環境有害性 短期(急性)	区分 3
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層有害性	分類できない

安全データシート

作成日 2004年5月11日

JIS Z 7253/GHS 分類マニュアル(改訂6版)に準拠

改訂日 2020年12月17日④

2.2 GHS ラベル要素

JIS Z 7253 / GHS 分類マニュアル(第6改訂版)による表示
絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険
危険有害性情報: H319 強い眼刺激
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
H350 発がんのおそれ
H372 長期にわたる、または反復ばく露による呼吸器、腎臓、免疫系、肺の障害
H402 水生生物に有害

注意書き:

【安全対策】

安全対策については、「7. 取扱い及び保管上の注意」、「8. ばく露防止及び保管措置」を参照。

- P264 取扱い後は手や眼をよく洗うこと。
- P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- P201 使用前に取扱説明書入手すること。
- P202 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P260 粉じん／蒸気を吸入しないこと。
- P270 この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。
- P273 環境への放出を避けること。

【応急措置】

応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の措置」を参照。

- P305+P351 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- +P338
- P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察／手当を受けること。
- P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
- P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診察／手当を受けること。
- P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- P308+P313 ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診察／手当を受けること。
- P314 気分が悪い時は、医師の診察／手当を受けること。

【保管】

保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。

P405 施錠して保管すること。

【廃棄】

廃棄については、「13. 廃棄上の注意」を参照。

P501 内容物／容器を国／都道府県／市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。

2.3 その他の危険有害性: 特になし

3 組成及び成分情報

3.1 化学物質・混合物の区別: 混合物

3.2 成分:

一般名	ペンタゾンNa	MCPエチル	鉱物性粉末等		
化学名	3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4)-2,2-ジオキソド=ナトリウム塩	2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル	シリカ(結晶質、非結晶質)	酸化アルミ	その他
含有率	11.0%	1.2%	67%	12%	8.8%
官報公示整理番号 化審法	農薬取締法に規制される物質	農薬取締法に規制される物質	(1)-548	(1)-23	全成分登録保証
官報公示整理番号 安衛法	8-(7)-863	4-(7)-355	公表	公表	全成分登録保証
CAS No.	50723-80-3	2698-38-6	7631-86-9	1344-28-1	非公開



安全データシート

作成日 2004年5月11日

JIS Z 7253/GHS 分類マニュアル(改訂6版)に準拠

改訂日 2020年12月17日④

4	応急措置	
4.1	応急措置の記載	
	眼に入った場合:	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当を受けること。
	皮膚に付着した場合:	多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診察/手当を受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
	吸入した場合:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。
	飲み込んだ場合:	水でよく口の中を洗浄すること。気分が悪い時は医師に連絡すること。
	ばく露またはばく露の懸念がある場合:	医師の診察/手当を受けること。
4.2	最も重要な兆候及び症状:	データなし
4.3	医師に対する特別な注意事項:	データなし
5	火災時の措置	
5.1	適切な消火剤:	粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス
5.2	使ってはならない消火剤:	情報なし。
5.3	特有の危険有害性:	情報なし。燃焼時、有毒ガス(HCl、NO _x 、SO _x 等)が発生するおそれがある。
5.4	特有の消火方法:	情報なし。
5.5	消火を行う者の保護具及び予防措置:	消火作業の際は、保護具を着用し、眼・鼻・口を覆う保護具(ホースマスク等)を着用するのが望ましい。
6	漏出時の措置	
6.1	人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	作業に際しては、適切な保護具を着用し、飛散しない方法で回収する。直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立入を禁止する。作業者は適切な保護具(「8. ばく露及び保護措置」を参照)を着用し、眼・皮膚への接触や吸入を避ける。
6.2	環境に対する注意事項:	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。公共の水路・水源等に流出したときは、警察・水質関係官庁に知らせる。
6.3	封じ込め及び浄化の方法及び機材:	危険でなければ漏れを止める。大量の漏洩物の除去や廃棄処理の場合は専門家の指示による。
6.4	二次災害の防止措置:	可燃物(木、紙、油等)は漏洩物から隔離する。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
7	取扱い及び保管上の注意	
7.1	取扱い:	
	技術的対策:	情報なし
	安全取扱い注意事項:	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。使用前に取扱説明書を入手すること。すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん/蒸気を吸入しないこと。
	接触回避:	情報なし
	衛生対策:	取扱い後は手や眼をよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。
7.2	保管:	
	安全な保管条件:	施錠して保管すること。
	安全な容器包装材料:	情報なし

ばく露防止及び保護措置

許容濃度等:

管理濃度:	吸入粉塵	3.0/(1.19Q+1) mg/m ³ (Q=粉塵中遊離珪酸(%))
日本産業衛生学会(2015年版):	吸入性結晶質シリカ	0.03 mg/m ³
ACGIH (2015年版):	結晶質シリカ	0.025 mg/m ³



安全データシート

作成日 2004年5月11日

JIS Z 7253/GHS 分類マニュアル(改訂6版)に準拠

改訂日 2020年12月17日④

設備対策: この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には、洗眼器と安全シャワーを設置する。
管理濃度・許容濃度以下に保つために、換気装置を設置する。

保護具:

呼吸用保護具: 防塵マスク。適切な呼吸用保護具を着用する。
手の保護具: 適切な保護手袋を着用する。
目、顔面の保護具: 眼の保護具を着用する。
顔面用の保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具: 適切な保護衣を着用する。

9 物理的及び化学的性質

9.1	物理状態:	細粒
9.2	色:	淡褐色
9.3	臭い:	僅かに特異な臭い
9.4	融点/凝固点:	情報なし
9.5	沸点又は初留点及び沸騰範囲:	情報なし
9.6	可燃性:	情報なし
9.7	爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	情報なし
9.8	引火点:	引火せず
9.9	自然発火点:	情報なし
9.10	分解温度:	情報なし
9.11	pH:	6.2
9.12	動粘性率:	情報なし
9.13	溶解度:	情報なし
9.14	n-オクタノール/水分配係数:	情報なし
9.15	蒸気圧:	情報なし
9.16	密度及び/又は相対密度:	情報なし
9.17	相対ガス密度:	1.10 g/cm ³ (20 °C、見掛比重)
9.18	粒子特性:	情報なし

10 安定性及び反応性

10.1	反応性:	情報なし
10.2	化学的安定性:	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
10.3	危険有害反応可能性:	情報なし
10.4	避けるべき条件:	情報なし
10.5	混触危険物質:	情報なし
10.6	危険有害な分解生成物:	通常の条件下では生成しない。加熱や燃焼により分解し、有害ガス(HCl、NO _x 、SO _x 等)を発生するおそれがある。

11 有害性情報

11.1	急性毒性:	経口 LD ₅₀ 5228 mg/kg (ラット♂)、4830 mg/kg (ラット♀) 経皮 LD ₅₀ >2000 mg/kg (ラット♂、♀) 吸入(粉じん、ミスト): データなし
11.2	皮膚腐食性/刺激性:	刺激性なし(有効成分ペンタゾン含有類似製剤及び MCP エチル含有類似製剤)
11.3	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	刺激性あり(有効成分ペンタゾン含有類似製剤及び MCP エチル含有類似製剤)
11.4	呼吸器感作性又は皮膚感作性:	皮膚感作性: 有効成分ペンタゾンは感作性あり、MCP エチルは感作性なし 呼吸器感作性: データなし
11.5	生殖細胞変異原性:	区分2のシリカを67%含有することから、区分2とした。
11.6	発がん性:	区分1Aのシリカを67%含有することから、区分1Aとした。
11.7	生殖毒性:	データなし
11.8	特定標的臓器毒性(単回ばく露):	データなし
11.9	特定標的臓器毒性(反復ばく露):	区分1(呼吸器、腎臓、免疫系)のシリカを67%含有し、区分1(吸入: 肺)の酸化アルミニウムを12%含有することから、区分1(呼吸器、腎臓、免疫系、肺)とした。
11.10	誤えん有害性:	データなし



安全データシート

作成日 2004年5月11日

JIS Z 7253/GHS 分類マニュアル(改訂6版)に準拠

改訂日 2020年12月17日④

12 環境影響情報

- 12.1 生態毒性: 水生環境有害性 短期(急性)
- | | | |
|--------|-------------------|-----------------|
| コイ | LC ₅₀ | 177 mg/L(96 時間) |
| オオミジンコ | EC ₅₀ | 873 mg/L(48 時間) |
| 藻類 | ErC ₅₀ | 27 mg/L(72 時間) |
- 水生環境有害性 長期(慢性)
データなし
- 12.2 残留性・分解性: データなし
12.3 生体蓄積性: データなし
12.4 土壤中の移動性: データなし
12.5 オゾン層への有害性: 本品の成分はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13 廃棄上の注意

- 内容物/容器を国/都道府県/市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。
- 13.1 内容物の廃棄: 使用残農薬及び空容器の排出事業者自身で、許可を受けた廃棄物処理業者に処理を委託する。
市町村が回収処分をしているところでは、定められた方法に従う。
使用残農薬及び空容器を地域共同で適正に回収処分する体制が確立しているところでは、当該システムにより処分する。
使用済み容器及び散布器具等の洗浄液は、農薬散布液調製に用いるなど、圃場内で処理する。
- 13.2 容器の廃棄: 空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処分する。

14 輸送上の注意

- 14.1 国連番号: 該当しない
品名: —
国連分類: —
容器等級: —
- 14.2 海洋汚染物質: 該当しない
14.3 MARPOL73/78 附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質: 該当しない
- 14.4 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策: 輸送前に容器の破損・腐食・漏れ等が無いことを確認する。
転倒・落下・破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- 14.5 国内規制がある場合の規制情報: 特になし
- 14.6 応急措置指針番号: 該当しない

15 適用法令

- 農薬取締法: 農薬登録番号 第17344号
毒物及び劇物取締法: 該当しない
消防法: 該当しない
労働安全衛生法: 第57条(表示対象物質) 結晶質シリカ(第165号の2)
酸化アルミニウム(第189号)
第57条の2(通知対象物質) 結晶質シリカ(第165号の2)
酸化アルミニウム(第189号)
- 化審法: 該当しない
化管法: 第1種指定化学物質 該当しない
第2種指定化学物質 該当しない

16 その他の情報

本SDSは日産化学株式会社「日産グラスジンMナトリウム粒剤」安全データシート(改訂日:2018年7月1日)をもとに作成しています。



製品名: 石原グラスジン M ナトリウム粒剤 (ペンタゾン・MCPA エチル粒剤) SDS No. A-1092

安全データシート

作成日 2004年5月11日

JIS Z 7253/GHS 分類マニュアル(改訂6版)に準拠

改訂日 2020年12月17日④

石原の農薬(石原産業株式会社)

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ

石原テレホン相談室

0120-1480-57(フリーダイヤル)

※石原バイオサイエンス株の全国の支店のうち、最寄りの事業地につながります。

公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 一般市民専用電話

(大阪)

072-727-2499(情報料無料)

365日24時間対応

(つくば)

029-852-9999(情報料無料)

365日9~21時対応

中毒110番 医療機関専用有料電話

(大阪)

072-726-9923(1件2000円)

365日24時間対応

(つくば)

029-851-9999(1件2000円)

365日9~21時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合、情報提供料は有料(1件につき2,000円)となります。

この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253:2019に基づいて作成しています。

記載内容の取扱い

本 SDS の記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の見取りを対としたものであり、特別な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。記載内容は情報提供であり、保証されるものではありません。